



ひととき

公民館運営審議会委員 眞砂野 裕

「こううんしん??」正直、公民館と市民会館の違いもわからなかった私が公民館運営審議会委員となり、1年が経ちました。公運審(こううんしん)という略語にも慣れた今、以前よりずっと公民館が好きになっている自分があります。公民館って、もっと市民の暮らしの真ん中であってよい場所だと思います。

まだまだ“公運審 初心者”の私が言うのものはばかられますが・・現在の公運審の委員さんは、かなり熱い方々が集まっています。特に今期は「第21期昭島市公民館運営審議会 答申」を提出する年度ということもあると思いますが、毎回、馴れ合いではない議論が展開され、少しでも公民館をよい場所にしていくために真剣な話し合いが重ねられてきました。職業上、議論には慣れている私もこの熱さには時折圧倒されるほどでした。その熱い時間を通し、委員長である学識経験者を中心に、各委員がご自分の立ち位置から発信した意見が第21期答申に盛り込まれていくはずで

す。そもそも、公民館は「地域づくりの拠点」であり、その事業は地域課題・生活課題に関係する内容が原則です。つまり、昭島市民のための、昭島市民に必要な課題を解決していくことがその基本精神にあるのですね。公運審の委員も、はじめは全町村民の選挙で選ばれていたのだそうです。時を経て、公運審が実施機関から諮問機関に変化しても、その精神は変わらず受け継がれているのではないのでしょうか。だからこそ、各委員がご自分のそばにいる、あるいはご自分が出会ってきた市民一人一人の顔を思い浮かべて、その生活を、その思いを自分事として捉えて発言しているのです。

そして、その熱い思いを、公民館長はじめとする職員の方々が、これまた熱く真摯に受け止めてくださっています。私も学校現場の者として、これからも「子どもたちのための公民館」ってどんなことを考え続けていきたいと思います。

公民館を暮らしの真ん中に！熱いぞ、公民館！！

公民館運営審議会活動報告

公民館運営審議会は公民館における各種事業を調査・審議することを目的に、毎月第2または第3木曜日の午後6時30分から開催しています。5月と6月の主な内容についてお知らせします。

◇5月16日(木)

事務局より、4月に行われた都公連の定期総会についての報告がありました。昨年度都公連のあり方検討委員により提案された答申内容が承認され、令和6年度の都公連は、研究大会のスリム化や、職員部会、委員部会の運営方法の見直しを行いながら事業が進められます。

学習会では答申の作成に向けた最終段階として、素案をたたき台に、これまで過去の答申の見直しや、委員や学生との間で

行った意見交換など、様々な活動を踏まえて、各委員により最終的に答申の目指す内容について1人1人が意見を出し合い、答申に詰めていくための話し合いを行いました。

◇6月13日(木)

前回の審議会で、各委員のそれぞれの立場から検討した、公民館の在り方や望ましい姿、そのことに伴う様々な課題について出された意見をもとに、会長から具体的な答申の素案が文章化された形で提案され、読み合わせを行い、委員同士で感想を述べたり、詳細な部分について意見を出し合いました。

事務局からは、公民館主催事業の報告や、小ホール特別利用の承認について、また今年受け入れる、社会教育実習生についての報告を行いました。

公民館利用者連絡会 けいじばん

◆総会及び交流懇談会を行いました

～6月1日(土)午後2時～

2023年度活動・会計報告。2024年度活動予定、役員・世話人選出のすべてが承認され、新年度のスタートです。

総会後の交流懇談会では、自己紹介をしながら、それぞれの公民館活動の始まりの話をしました。学生時代に習っていた楽器演奏を久し振りに始めたこと。公民館の主催講座に参加したのを機にサークルをつくった話。子どもの学校のPTA仲間と活動を始めたことなど様々な「始まり」が

あったようです。公民館活動を通して仲間ができたことなどをゆっくり話ができる場になりました。

これからも利用者同士の交流を深め、公民館活動を多くの市民に知らせていく継続した取り組みが必要なることを確認しました。

<今後の予定>

◆世話人会を行います(原則 毎月第4水曜日)午後4時より
ご意見などありましたらお寄せください。